

平成 27 年度

埼玉県東南部都市連絡調整会議

観光専門部会 調査研究

広域における観光施策に

関する調査研究

報 告 書

【概要版】

埼玉県東南部都市連絡調整会議

平成 28 年 3 月

Contents

1. 調査研究の概要	1
(1) 背景と目的	1
(2) 本調査研究の進め方	2
(3) 調査スケジュール	2
2. 現状・課題分析・広域観光に関する先進事例収集	3
(1) 我が国の観光の現状	3
(2) 埼玉県観光の現状と課題	4
(3) 5市1町の観光の現状と課題	4
(4) 広域観光に関する事例	5
3. 意向調査の実施	6
(1) 意向調査の概要	6
(2) 意向調査結果（広域連携に関する事項のみ抜粋）	7
4. インバウンド観光施策の研究	8
(1) 我が国のインバウンド観光の現状や課題	9
(2) 5市1町のインバウンド観光の現状と課題	9
(3) インバウンド観光施策の事例	10
5. 本圏域の観光施策に関する現状と課題のまとめ	10
(1) 意向調査からみた現状と課題等	11
(2) まんまるバスツアーからみた広域観光の方向性	11
(3) 5市1町の広域観光に向けた現状分析	12
(4) 5市1町の広域観光施策検討に向けた課題と特性のまとめ	12
6. 広域的な観光施策の検討	13
(1) 広域観光施策の検討にあたっての基本的考え方	13
(2) 検討の方向性	14
(3) 先導プロジェクトメニュー案の選定	14

1. 調査研究の概要

(1) 背景と目的

「広域における観光施策における調査研究」

第2次埼玉県東南部都市連絡調整会議（5市1町）基本指針において、今後重点的に取り組む調査研究及び広域連携事業の一つに位置づけている。

調査研究の目的

本調査研究は、2020年の東京オリンピック・パラリンピック等も見据え、本圏域に外国人観光客を誘客するインバウンド観光対策も含めた観光施策について、広域連携することによる新たな観光施策の方向性や可能性を検討することで、地域住民が誇りと愛着を持ち、魅力ある地域づくりや地域の活性化につなげることを目的とする。

（２）本調査研究の進め方

5市1町からなる観光専門部会により、以下の検討を行った。

観光資源の現状や課題等の整理 ＜8月～10月・第3～5回部会＞

- ①課題・現状分析
(国、埼玉県、5市1町)
- ②広域観光等の先進事例の情報収集
- ③意向調査
- ④インバウンド観光施策の研究



5市1町の観光の現状や
課題のとりまとめ



広域的な観光施策の研究 ＜11月～1月・第6～8回部会＞

- ①広域観光施策の検討にあたっての基本的考え方の整理
- ②検討の方向性の整理
- ③先導プロジェクトメニュー案の選定
- ④先導プロジェクトメニューの研究



広域的な観光施策に関する
方向性や可能性のとりまとめ

（３）調査スケジュール

月	観光専門部会	首長懇談会・幹事会
4月		
5月	5/11 第1回専門部会	5/20 第1回幹事会
6月		
7月	7/10 第2回専門部会	
8月	8/18 第3回専門部会	
9月	9/10 第4回専門部会	
10月	10/2 第5回専門部会	10/21第2回幹事会
11月	11/26 第6回専門部会	
12月	12/17 第7回専門部会	
1月	1/22 第8回専門部会	
2月		2/ 4 第3回幹事会 2/19 第1回首長懇談会
3月		3/29 第4回幹事会

2. 現状・課題分析・ 広域観光に関する先進事例収集

（1）我が国の観光の現状

- 2014年は、宿泊観光旅行の回数や宿泊数は減少に転じたが、日帰り旅行は前年度並み
- 「富岡製糸場と絹産業遺産群」が、世界文化遺産登録されるなど、日本の観光資源が世界的に高く評価され、訪日外国人旅行者数等が過去最高
- 今後は、安定的な集客が見込める身近な日帰り観光客・訪日外国人観光客への対応や取組みの充実が課題

【我が国の観光の現状に関するデータや施策】

国内旅行の現状

- ①国内宿泊観光旅行の回数及び宿泊数
- ②国内宿泊観光延べ人数、
国内日帰り観光旅行延べ人数
- ③日本人・外国人延べ宿泊数

観光庁の広域観光等の施策

- ①広域観光周遊ルート形成計画
- ②観光圏の整備
- ③地域資源を活用した観光地魅力創造事業

（２）埼玉県の観光の現状と課題

- 現状**
- 入込客数は多いが、宿泊観光客の割合や訪日外国人の訪問率が低い
 - 観光地や旅行先のイメージが低い
 - 地元への愛着からおもてなし力の向上が重要
- 強み**
- 首都圏の観光マーケットを見据えた事業展開が可能
 - 環境・医療関連企業をはじめ、農業などの産業が盛ん
 - 首都圏に近接しながら自然環境が豊か
 - スポーツに関連した観光施策に取り組む基盤がある など
- 弱み**
- 有名な観光地等が少なく、観光県のイメージが定着しない
 - 多彩な資源が十分に生かされていない
 - 一人当たりの観光消費額単価が全国的に低い
 - 県民の愛着心が全国的に低く、地元意識が低い など

【埼玉県の観光の現状と課題に関するデータや施策】

埼玉県の観光の現状

- | | |
|------------------|---------------|
| ①観光入込客数 | ④埼玉県のイメージ |
| ②一人当たりの観光消費額 | ⑤埼玉県民の地元への愛着度 |
| ③外国人旅行者の埼玉県への訪問率 | ⑥ホスピタリティ |

埼玉県観光づくり基本計画における観光の方針と施策

- ①埼玉県における観光の将来像
- ②基本方針
- ③基本施策

（３）５市１町の観光の現状と課題（１／２）

各自治体であげられている主な観光課題

- 観光資源**
- 地場産業などの観光資源が活かされていない
 - 参加体験型観光など、観光メニューに乏しい
 - 新たな観光資源の開発や既存の地域観光資源の掘り起こしが必要
 - 新たな観光資源を生み出す仕組みが確立されていない
- 担い手**
- 観光の担い手となる産業や市民意識が醸成されていない、また、仕組みが確立されていない
- 情報発信**
- 観光情報の発信機能が十分でなく、更なる観光資源のPRが必要

【５市１町の観光の現状と課題に関するデータや施策】

各自治体の観光に関する方針や施策の整理

- ①草加市観光基本計画
- ②越谷市産業振興ビジョン
- ③八潮市産業経済振興基本計画
- ④第４次三郷市総合計画
- ⑤第５次吉川市総合振興計画
- ⑥松伏町第５次総合振興計画

意向調査

- ①観光振興に関する取組み
- ②観光振興に対する体制等
- ③情報発信

(3) 5市1町の観光の現状と課題 (2/2)

◎各自治体の地域資源や上位・関連計画等における観光の位置づけ等の整理

5市1町の地域資源や上位・関連計画における観光に関する位置づけについて、一元的に把握できるように整理した。

シート名	概要
①観光に資する地域資源一覧表	各自治体の地域資源について、観光に関するカテゴリー別(観光スポット、風景、お祭り・イベント等)に整理を行った。
②地域資源分布図	各自治体の地域資源の整理をもとに、どこにその資源があるか分布図を作成した。分布図については、上記の観光に関するカテゴリー別にレイヤーを分けて情報を把握できるようにまとめた。 □観光スポット □神社・仏閣・文化財 □風景 □公園 □お祭り・イベント □地場体験 □農業体験 □工場見学
③自然資源ポイント	各自治体の自然資源について、生き物に関する既応調査地点や、都市公園の配置に関するデータの統合・整理をした上で、観光に資する資源の抽出を行い、地図及び項目表を作成した。
④上位・関連計画における観光に関わる位置づけ等の整理	各自治体の総合計画や基本計画において、観光についてどのように位置づけられ、どのような施策が打ち出されているか。また観光振興計画を作成している自治体については具体的な方針等について一元的にとりまとめた。
⑤基礎情報の整理	観光施策を調査研究を行うにあたって、人口や面積、交通、観光関連事項など意向調査等から整理しとりまとめた。

(4) 広域観光に関する事例

事例収集の考え方

着眼点：地域資源、推進体制、取り組みのポイント、成果と課題

- 収集事例
- 地域の体験交流による「着地型観光」の事例
 - 異分野交流や6次産業など「地域産業活性化」の事例
 - 水陸両用バスなどの「交通の観光化」の事例

広域観光に関する事例収集 (一部抜粋)

◎食べあるき町あるきマップ
を活用した商店街活性化
(宮崎県日南市)



食べあるき・町あるきマップ

◎地域資源「房州びわ」を
中心とした地域活性化
(千葉県南房総市)



50種類以上に及ぶ多様なオリジナル商品

◎ダムを観光資源とした
地域活性化
(栃木県日光市)



遊覧(ダム湖)

3. 意向調査の実施

(1) 意向調査の概要

■ 調査目的

5市1町の観光資源や推進体制等情報の一元化、今後の広域観光施策の推進にあたっての意向の把握を行うため。

■ 対象

5市1町の各観光担当課、商工会議所・商工会、観光協会 計17団体を対象。
※松伏町 観光協会なし

■ 調査方法

メールにて、意向調査シートを送信し、回答を受信。

■ 設問項目とねらい

- ①観光振興に関する取り組み：観光資源一覧の確認、推奨事項の把握等
- ②観光振興に対する体制等：観光に関する現状の体制、ボランティア組織の有無の把握
- ③訪日外国人旅行への観光対応：広域連携によるインバウンド対策に向けた現状と意向の把握
- ④観光交通戦略：観光に資する交通の現状と課題、今後の交通連携に向けた意向の把握
- ⑤他市町との観光施策等の連携：観光に関する他都市との連携状況や意向の把握
- ⑥情報発信：観光関連ホームページの有無、情報発信ツール等の把握

(2) 意向調査結果（広域連携に関する事項のみ抜粋）（1 / 3）

意向調査の中で、広域連携に関する意向について整理した。

Q1 他市町と連携した観光振興に関わる取り組みを実施されていますか。

		している	検討中	していない			している	検討中	していない
草加市	文化観光課	●			三郷市	商工観光課	●		
	草加商工会議所			●		三郷市商工会			●
	草加市観光協会	文化観光課と同様				三郷市観光協会	●		
越谷市	観光課	●			吉川市	商工課	●		
	越谷市商工会			●		吉川市商工会			●
	越谷市観光協会	●				よしかわ観光協会	商工課と同様		
八潮市	商工観光課	●			松伏町	環境経済課			●
	八潮市商工会	観光協会と同様				松伏町商工会			●
	八潮市観光協会			●					

- ・5市（草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市）において、他都市との連携を実施
- ・東部都市商工行政連絡協議会(9市が参加：春日部市、草加市、越谷市、三郷市、八潮市、吉川市、久喜市、幸手市、蓮田市)では、イベント出店等の相互受け入れを実施
- ・連携の内容としては、イベント、マップづくり、P R連携などを実施

今後の連携のポイント

- ・5市1町における各イベントへの相互参加、P Rの連携強化

(2) 意向調査結果（広域連携に関する事項のみ抜粋）（2 / 3）

意向調査の中で、広域連携に関する意向について整理した。

Q2 他市町との連携に興味や必要性を感じていますか。

		感じている	感じていない	どちらでもない			感じている	感じていない	どちらでもない
草加市	文化観光課	●			三郷市	商工観光課	●		
	草加商工会議所	●				三郷市商工会	●		
	草加市観光協会	文化観光課と同様				三郷市観光協会	●		
越谷市	観光課	●			吉川市	商工課	●		
	越谷市商工会	●				吉川市商工会	●		
	越谷市観光協会	●				よしかわ観光協会	商工課と同様		
八潮市	商工観光課	●			松伏町	環境経済課	●		
	八潮市商工会	観光協会と同様				松伏町商工会	●		
	八潮市観光協会	●							

- ・5市1町、全ての自治体が興味や必要性を実感
- ・単独の市では限界があるが、連携することにより多様なニーズに応えることが可能
- ・より多くの方に各自治体の観光資源をアピールすることが可能
- ・観光推進事業に関する情報共有により、新たな観光資源発掘のヒントとなることを期待

今後の連携のポイント

- ・各自治体の観光資源を連携させることで、多様なニーズに対応
- ・情報や課題等の共有化による取り組みの効率化、効果拡大

● (2) 意向調査結果 (広域連携に関する事項のみ抜粋) (3/3)

意向調査の中で、広域連携に関する意向について整理した。

Q3 広域で取り組むことで有効性を感じるもの、連携の意義を感じる事業として、何が考えられますか

- ・体験ツアーや観光ルートの設定など周遊ルートやツアーの検討
- ・文化観光事業の推進
- ・広域観光パンフレットの作成
- ・観光PRの拡大
- ・特定ジャンルによる観光客の呼び込み (食の食べ歩き、ロケ地巡り、買い物ツアー)

今後の連携の ポイント

- ・各市町を巡る周遊ルートやツアーの検討
(まんまるバスツアーのバージョンアップ版)
- ・広域観光パンフレットの作成

4. インバウンド観光施策の研究

（１）我が国のインバウンド観光の現状や課題

- 2015年の訪日外国人全体の旅行消費額(推計値※)は3兆4,771億円と推計され、前年(2兆278億円)に比べ71.5%増加し、過去最高となった
- 訪日外国人旅行者数(推計値※) は1,974万人であり、前年1,341万人に比べ47.1%増加し、国が2020年の目標としている年間2000万人に迫った
※出典：観光庁観光統計平成28年1月19日(推計値のため今後改訂される可能性あり)
- 訪日外国人の地域別訪問割合は、周辺関東圏に比べて埼玉県は極端に低い
- 訪日外国人観光客数は、年間を通じた変動が少なく、安定した誘客が見込める

【インバウンド観光の取り組みに関するデータや施策】

インバウンド観光の現状

- | | | |
|--------------|-------------|----------------|
| ①外国人旅行者受入の動向 | ④費目別の消費実態 | ⑦訪日外国人の地域別訪問傾向 |
| ②外国人旅行者の訪日状況 | ⑤国・地域別の消費実態 | ⑧訪日外国人の観光・レジャー |
| ③インバウンド消費の動向 | ⑥国・地域別の消費実態 | 参加率・希望率 |

観光庁のインバウンド観光に関する取組

- ① ビジット・ジャパン事業
- ② 観光のICT化の推進
- ③ MICEの開催・誘致の推進

インバウンド観光の波及効果の整理

- ① 人口減少による国内観光需要の減少の補完
- ② 観光客数の年間変動の平準化
- ③ インバウンド向け新規地域産業の創業

（２）5市1町のインバウンド観光の現状と課題

- 無料Wi-Fi環境に対応した自治体はないが、必要性を感じている
- 観光パンフレットやサイン等への多言語化対応について、3カ国語対応は八潮市のみで、1カ国語対応は草加市となっている
- 2020年の東京オリンピック、パラリンピックに向けてのインバウンド観光に対して、検討を進めている自治体は少ない

5市1町の観光関連担当課の意向調査より

※(3)訪日外国人旅行(インバウンド)観光について 抜粋

- Q1 無料公衆LAN (Wi-Fi)環境整備の現状と課題
- Q2 観光関連パンフレットやサイン等への多言語化の対応状況
- Q3 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、インバウンド観光に対する検討状況

● (3) インバウンド観光施策の事例

着眼点：地域資源、戦略、推進体制、成果と課題

収集事例：観光メニュー充実

- 着地型観光（ターゲットの絞り込み）
- モニターツアーによる観光資源の発掘
- 民泊への対応
- ファムツアーによる交通課題の解決
- ムスリム対応のおもてなし観光

受け入れ環境の整備

- 無料Wi-Fiの設置
- 決済サービスの円滑化
- サイクリングルート整備

担い手の育成

- 人材の育成

情報発信

- 外国人旅行者へのサイト充実
- 観光センターの設置

広域連携

- 広域による受入態勢の構築

インバウンド観光施策の成功事例（一部抜粋）

◎ 明日のインバウンド観光
を担う人材を育成
(京都府京都市)



京都観光経営学講座の講座風景

◎ レンタサイクルを運営し、
自由度の高い観光周遊を促す
(広島県尾道市他2市)



しまなみ海道サイクリング風景

◎ 農家の方と農業体験を
行う民泊ツアー
(秋田県仙北市)



台北での旅行商談会で農家民泊をアピール

5. 本圏域の観光施策に関する 現状と課題のまとめ

(1) 意向調査からみた現状と課題等

意向調査の結果、5市1町全ての市町が連携の必要性を感じている。

項目	現状と課題
おすすめの観光資源	・草加市は歴史文化資源、越谷市は大型商業施設と農観光、八潮市は水辺や駅前公園、三郷市は大型商業施設と飲食、吉川市はなまず料理や歴史文化資源、松伏町は桜並木や公園と農観光
推進する観光テーマ	・草加市はおもてなし観光や産業観光、越谷市は都市型観光、八潮市は水と花を活かした観光や産業観光、三郷市は特産品やイベントを活かした観光、吉川市はなまずと新たな観光資源の開発を推進、松伏町は地域資源巡りと健康
観光交通戦略	・草加市・越谷市・八潮市・松伏町が実施。内容は、交通広告を活用した情報発信や、鉄道と連携したイベントの実施等 ・観光交通の課題は、観光地を繋ぐ交通網がない、バス便が不便、自家用車の依存度が高いこと ・期待している乗り物は、バス、自転車などがあげられ、ルート等に柔軟に対応できる乗り物、歩行者に対する街歩きスポットや歩行空間の整備
観光の広域連携	・5市（草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市）では連携を実施（具体的には、東部都市商工行政連絡協議会（9市が参加：春日部市、草加市、越谷市、三郷市、八潮市、吉川市、久喜市、幸手市、蓮田市）におけるイベント相互出店の受け入れ等） ・5市1町、全ての自治体が連携の興味や必要性を感じている（単独の市では限界があるが、連携することにより多様なニーズに応えることができ、より多くの方に各自自治体の観光資源をアピールすることができること、また観光推進事業に関する情報共有により、新たな観光資源発掘のヒントとなることを期待） ・広域連携で期待する事業は、体験ツアーや観光ルートの検討や文化観光事業の推進
インバウンド観光	・草加市では英語サインを設置。八潮市では英語・中国語・韓国語に対応したHPを作成。越谷市・三郷市では今後パンフレットやHP等での対応を検討。無料公衆無線LAN（Wi-Fi）環境の整備をしている自治体は無いが、必要性を感じている

(2) まんまるバスツアーからみた広域観光の方向性

平成18年より毎年、5市1町連携による名所や施設をめぐるバスツアーのアンケート結果より、広域的な観光の可能性等について整理した。

■ 定量的な評価

- ・バスツアー全体としては、各回満足度が8割を超え、非常に満足度が高い
- ・個別の内容としては、松伏高校合唱部のミニコンサート等のおもてなしやサプライズの感動に対する項目や、苔玉作り・砂子箔加工・せんべい焼き等の体験等の体験プログラムが好評

■ 定性的な評価<自由意見の中の感想より観光施策の有効性を分析>

- ・体験のおもしろさや楽しさが満足度につながっている
- ・感動体験やおもてなしのよさが満足度につながっている
- ・食のおいしさが満足度につながっている
- ・参加者間の交流が満足度につながっている 等



広域観光による観光の魅力のパッケージ化により、五感を刺激する魅力的な観光商品の提供（見る、味わう、もてなし、集う、憩う、回遊する、交流する、学ぶ、買う、体験）の有効性が伺えた。

(3) 5市1町の広域観光に向けた現状分析

	プラス要因	マイナス要因
内的環境	強み (Strength) <ul style="list-style-type: none"> ● 集客施設がある（越谷市、三郷市） ● 都市的環境と農的環境が近接 ● 各地で祭りやイベントが活発 ● 都心に近く、周辺からの交通利便性がよい ● 緑地や河川など自然環境や農地等の田園環境が豊か ● 工場見学や収穫体験など、体験プログラムが豊富 ● 広幅員の水運ルートが豊富 ● 市民ボランティア団体が多い ● 平坦な地形で移動が容易 	弱み (Weakness) <ul style="list-style-type: none"> ● 目玉となる観光資源が少ない ● 住民の観光意識が低い ● 観光ルートが確立されていない ● 住民の地元での観光意識が低い ● PR（情報発信）力の不足 ● 宿泊施設が少ない ● 公共交通と観光事業の連携不足 ● インバウンド対応の遅れ ● 観光における自治体間の連携が不十分
	機会 (Opportunity) <ul style="list-style-type: none"> ● 東京オリンピック、パラリンピック ● 自然志向の高まり（花のイベント、農体験等）や健康志向の高まり（ウォーキング、ランニング等） ● 日帰り観光客の増加 ● 観光PR媒体の多様化 ● 国や県の観光施策の強化推進 	脅威 (Threat) <ul style="list-style-type: none"> ● 全国各地での観光地間の競争の激化 ● 都内での都市型観光の活発化 ● 経済不況、景気低迷 ● 少子高齢化 ● 自然災害のリスク
外的環境		

(4) 5市1町の広域観光施策検討に向けた課題と特性のまとめ

項目	課題	特性
① 広域観光としての認知度と情報発信力	<ul style="list-style-type: none"> ● 5市1町で連携していることの認知度は低い ● 観光としての情報発信力もやや低い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各自治体で観光としての情報発信を適宜実施。5市1町で、広報を使ったPR連携を推進 ● 越谷レイクタウン及び新三郷駅周辺大型ショッピングエリアは高い集客性がある
② 広域観光としての誘客のための観光資源	<ul style="list-style-type: none"> ● 目玉となる（ブランド力のある）観光資源が少ない。観光資源間の連携が弱い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 既に実施しているまんまるバスツアーは満足度が高い ● 典型的な都市観光のエリアであり、かつ自然環境も近接して内包したエリア
③ 広域観光に対応した交通	<ul style="list-style-type: none"> ● 5市1町の観光資源をつなぐ交通網（二次交通）が整備されておらず、広域観光の回遊性環境が弱い 	<ul style="list-style-type: none"> ● まち歩きやウォーキングなど地域を巡るニーズが向上し、埼玉県では、自転車や歩行者のネットワーク化を推進 ● 近年交通自体が観光交通として楽しめるツールとなっており、本圏域は、平坦な地形や水辺が多く、多様な観光交通手段が楽しめる基盤がある
④ 受け入れ体制としての市民、町民の観光への意識	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民、町民が、地元で多くの観光資源を有していることがあまり認知されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な担い手が潜在的に存在 ● お祭りやイベント、新たな食や音楽等の各種イベントが各地域で活発に実施
⑤ 外国人観光客の状況や受け入れ体制	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本への外国人観光客が増加する中で、本圏域での観光的集客は少なく、そのため受け入れ体制も充分でない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人は観光地の単体の魅力ではなく、様々な魅力が複合された体験に満足度が高い傾向 ● 5市1町は、東京から近接しているながら、都市と自然の環境が同時に体験することが可能

6. 広域的な観光施策の検討

（１）広域観光施策の検討にあたっての基本的考え方

- 観光への取り組みが多様化・複合化している中で、5市1町が連携し、広域観光に取り組むことで、情報発信や観光商品の魅力の向上、インバウンドへの対応や人材育成等への効果が期待される。

課題：
目玉となる観光資源が少ない、広域観光に対応した二次交通等の不足、住民の観光意識が低い、外国人観光客の受け入れ体制が不十分、広域観光の推進体制が未整備



特性：
既に多くの人々が訪れている、都市であること（多様なモノ、ヒト、コト）を活かせる、都市と自然環境が近い、観光連携を一部実施している

基本的考え方

「5市1町の広域観光イメージの確立と広域観光の推進」

現状の観光に関する課題や特性をふまえた検討の方向性の整理（検討の方向性）

先導プロジェクトメニュー案の選定と研究

(2) 検討の方向性

※とりまとめた課題や特性にそって、施策検討の方向性を以下の5つに設定しました。

検討の方向性	内容
1) 5市1町広域観光イメージの構築と情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・5市1町広域観光を打ち出すためのイメージの確立 ・広域連携による効率的かつ効果的な情報発信 ・5市1町広域観光のブランド力の向上
2) 観光資源の効果的連携による多様性のある魅力づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ストーリー性の付加、見せ方の工夫、都市ならではの文化施設や娯楽施設との連携、多様な担い手が織りなす都市の文化やイベント・体験、新たな魅力（アートや食）等との連携 ・5市1町ならではの多様性のある魅力づくりの開発
3) 観光資源を繋ぐ様々な手法による観光交通	<ul style="list-style-type: none"> ・広域観光と連携した二次交通等の検討 ・都市の特性を活かした徒歩観光の充実、交通そのものが観光メニューとなる検討
4) 地域住民が担い手となったおもてなし観光	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な担い手が実施しているイベントや催しなどを広域観光に積極的に取り込むこと ・住民が関わりやすい環境やしくみの整備の検討
5) インバウンド観光への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・5市1町ならではの多様性のある体験メニューの検討 ・インバウンド観光に対する基本的な基盤整備等の対応

(3) 先導プロジェクトメニュー案の選定 (1/4)

検討施策	先導プロジェクトメニュー案	該当する「検討の方向性」の項目	
		広域観光関連	インバウンド観光関連
魅力をつくる 広域観光で	<新たな広域観光の魅力の発掘> ①5市1町のグルメの紹介及び開発	1) 認知促進 2) 観光資源 4) 地域参加	
	<地域イベントの広域連携> ②てしごと市、イルミネーション等の広域連携事業の実施	1) 認知促進 2) 観光資源 4) 地域参加	
	<新たな広域観光メニューの創出> ③地域資源を活用したインバウンド観光の検討	1) 認知促進 2) 観光資源	5) インバウンド観光
魅力を広げる 広域観光で	<広域観光の情報発信ツールの作成> ④多言語化による広域観光ガイドブックの作成	1) 認知促進 2) 観光資源	5) インバウンド観光
	<観光関連情報の相互発信> ⑤観光ホームページの相互リンク、連携パンフやチラシ、認定品の相互販売等	1) 認知促進 2) 観光資源	
	<広域観光情報の一元化> ⑥広域観光ポータルサイトの運営	1) 認知促進 2) 観光資源 4) 地域参加	5) インバウンド観光
回遊性を高める 広域観光で	<テーマ型広域観光プログラムの作成> ⑦徒歩広域観光ルートの構築	2) 観光資源 3) 観光交通 4) 地域参加	
	<テーマ型広域観光プログラムの作成> ⑧テーマ別まんまるバスツアーの企画・開催	2) 観光資源	5) インバウンド観光
	<広域観光に資する交通メニュー導入> ⑨レンタサイクルシステム導入の検討	1) 認知促進 3) 観光交通	

（3）先導プロジェクトメニュー案の選定（2/4）

「広域観光で魅力をつくる」

先導プロジェクトメニュー案	概要
<p>＜新たな広域観光の魅力の発掘＞</p> <p>①5市1町のグルメの紹介及び開発</p>	5市1町でのグルメを紹介、開発し、グルメコンテストの開催やPRを通じて、新たな広域観光の魅力づくりを行う。
<p>＜地域イベントの広域連携＞</p> <p>②てしごと市、イルミネーション等の広域連携事業の実施</p>	若い世代やファミリー層向けの「てしごと市」や、冬季の誘客効果の高いイルミネーションなど、各自治体で実施している地域イベントを一元的にPRし、集客効果を高める取り組みを行う。
<p>＜新たな広域観光メニューの創出＞</p> <p>③地域資源を活用したインバウンド観光の検討</p>	草加宿や越谷宿、伝統工芸、忍法武芸など、外国人観光客に好まれる日本文化や歴史的資源をテーマとした体験メニューを考案し、インバウンドの集客効果を高める取り組みを行う。

（3）先導プロジェクトメニュー案の選定（3/4）

「広域観光で魅力を広める」

先導プロジェクトメニュー案	概要
<p>＜広域観光の情報発信ツールの作成＞</p> <p>④多言語化による広域観光ガイドブックの作成</p>	よりわかりやすく・的確に伝えられるよう、テーマ性、ストーリー性を重視した、5市1町の広域観光を楽しめるガイドブックを多言語対応で作成し、外国人を含め広くPRを行う。
<p>＜観光関連情報の相互発信＞</p> <p>⑤観光ホームページの相互リンク、連携パンフやチラシ、認定品の相互販売等</p>	各自治体の観光ホームページの相互リンクや、連携した取り組みにおける共同のチラシの作成、各自治体における認定品の相互販売等を実施する。
<p>＜広域観光情報の一元化＞</p> <p>⑥広域観光ポータルサイトの運営</p>	各自治体で発信しているイベント情報や観光の見どころ情報などの観光情報を一元化し、自治体単独では伝えきれない5市1町が持つ多彩な魅力をアピールする。

● (3) 先導プロジェクトメニュー案の選定 (4/4)

「広域観光で回遊性を高める」

先導プロジェクトメニュー案	概要
<テーマ型広域観光プログラムの作成> ⑦ 徒歩広域観光ルートの構築	首都圏等の観光客やインバウンドを誘客するため、約8～10km程度の市域をまたいだ都市観光と自然観光をゆったりと楽しめる徒歩観光のプログラム（ルート）を作成する。
<テーマ型広域観光プログラムの作成> ⑧ テーマ別まんまるバスツアーの企画・開催	既存のまんまるバスツアーコースをベースに、テーマ性やモデル体験・体感の付加など行う。また、婚活などの新たなテーマによるモニターツアー等により観光商品としての価値の向上を図る。
<広域観光に資する交通メニュー導入> ⑨ レンタサイクルシステム導入の検討	5市1町の平坦な地形を生かした、広域観光のツールとして楽しめる観光交通として、レンタサイクルシステムの導入を検討する。

■お問い合わせ先

埼玉県東南部都市連絡調整会議 事務局：越谷市役所企画課

埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号

TEL：048-963-9112

